

## 図書館員のひみつの本棚 第170回

今月は「雨」が書名に入っている本を選びました。

### 『雨あがりのメデジン』

アルフレッド・ゴメス＝ゼルダ／作 宇野 和美／訳 すずき出版 2011年 ¥1400 (税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年★★☆ 小高学年★★★★ 中学生★★★★  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

舞台は南米コロンビア第2の都市メデジン。10歳の少年カミーロは、学校に行かず、毎日親友のアンドレスと町をぶらぶらしています。カミーロ達が住んでいるのは、メデジンを囲む山の中腹にあるバリオ。貧しい家が立ち並ぶ地区です。

この町の人達には誇りにしているものが二つあります。メデジン市街とバリオを結ぶロープウェー「メトロカブレ」と、数か月前に建てられた公共図書館です。

カミーロはこの町を愛していましたが、町の誇りである図書館には決して近づきませんでした。前は学校に行っていたので、字が読めないわけではありません。別の理由があったのです。

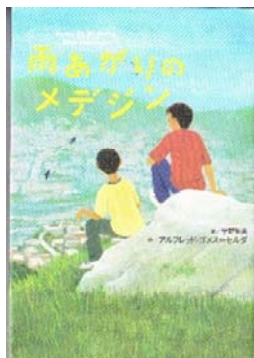
<子どもに手渡す時のポイント>

舞台は日本の子どもたちに馴染みのない場所ですが、著者があとがきに「これは国境のない本です。」と書いているように、世界中の子どもたちの心に届く物語です。

物語に出てくるスペイン公園図書館は実在し、インターネットでもその特徴的な建物を見ることができるので、本と一緒に紹介すると子どもたちの興味がわくかもしれません。

物語の中で少し触れられている、メデジンの歴史や文化などは、訳者あとがきに詳しく説明があります。知りたいという子にはあとがきを読むことを勧めてもらうとよいと思います。

この作品はスペイン児童文学界最大の賞、国民児童文学賞を受賞し、メデジンではミュージカル化もされています。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

発行： 福岡市教育委員会 総合図書館 図書サービス課

電話： 092-852-0639 FAX： 092-852-0801